慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	上総介忠輝 (伊達政宗海外遣使に関する疑問)
Sub Title	
Author	阿部, 秀助
Publisher	三田学会
Publication year	1909
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.2, No.3 (1909. 10) ,p.263(33)- 278(48)
JaLC DOI	10.14991/001.19091001-0033
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19091001-0033

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

る 步 1/2 U 然 ~ 的 不 利 な 念 接近 を 償 È U 0 自己 遠隔 ٠ر 其結 好 0 -1-力 心 次 哲 K 三里豆 否 士 交通 交 K g K 手 つ Ħ. とを 里の 111 7 叉 当 至 校 方法 日

钋 K 世 余の 7 大 CL 日 本 0 利盆 於 興 す 0 る M 所 账 0 計 U E K 機 は h 會 見 自 沚 を 見 的 0 0 ~ 再 力 캢 と難 す 間 る ઇ 0 所 今 關 袋に之を示す あ す 爲 力 る 5 的 0 統 力 す。 を K る K 所 如 30 何 之を研 ぎ K ざる を論 有 劾

上總介忠輝

(伊達政宗海外遣使に關する疑問)

阿部秀助

Psychologisch liesse sich liegt ein Vortheil toben, und die Handlungen geboren werden, welche den Gesetzen und Menschenseele tiefe Wurzeln weit: in unseren Falle lassen Rolle spielten. Sie nicht pætischen Darstellung, das Ereigniss auf diese Weise am besten Verstehen. H sich historisch behaupten liesse. ⋖ des Gemüthes erschliessen kann, Ranke's sämmtliche Werke, Die Information, Nur daran dass kann kein Zweifeln sein, gewissenhafter auf welche Mich BXIV e. jene deucht: ein Dichter könnte sie ergreifen, Prüfung zu einer bestimmten Ueberzeugung ueber den Abgründe, 269. der Sittlichkeit Hohn historische Darstellung dass such diesmal Ehrgeiz und Machtbegier begründete Ueberlieferung annehmen Aber die Ueberlieferung ist doch nicht sprechen, und angewiesen ist, der Leidenschaften doch in denn darin reichen

....

慶長 + 八年 九月十五 日奥州仙臺の藩主伊達政宗が其臣支倉六右衛門及び 1 ン、ブ

矛王 る 及 故 政 何 8 CL 宗 意 は 羅 を 0 違 K 屮 馬 爲 U 宗 八 7 法 \aleph 學 持 \aleph 7 0 兵 王 扶 o m 馬 0 K 搖 0 面 萬 其 剳 0 정 て 全 を 里 K K 0 忠 及 K 派 風 ~" 實 0 K ネ t を 0 至 な 去 ば 世 チ b 包 7 햅 る \mathcal{T} 7 gr K 中 世 彼 K b 5 引 自 સ્ટ્ર 彼 る 彼 0 シ か 0 七 態 は す 王(政 入 B ン 其 治 西 る r `, = な 羅 班 政 V. 法 70 0 CK 馬 宗 牙 1 ン 至 を B 迷 西 敎 は 卽 ダ n 郭 を L あ 會 握 IJ 唱 今 h 8 た 7 b 开 E 0 變 後 m 世 == 不 國 忠 あ は 機 K 加 終 第 質 千 る સ્ટ્ર 7 本 必 0 K な 六 邦 な 要 b 征 义 る 百 來 は 世 0 Ł 箵 0 は は 此 信 道 基 な を 今日 政 3 し(11) 督 徒 靗 米 6 સુ 征 J o は h 敎 服 な 0 を 然 成 貞 为元 第 る 根 徒 產 カ> 中 功 Ш 據 Ø み જ 西 --h D 高。月 事 班 Ł 0 7 加 南

(大)而 ゔ ン 宫 な 目 的 王 7 4 加 ス ঠ 可 此 I 事 其 照 がぶ 즲 0 1 女 1 本 宗 3 7 \$ 法 75 世 0 月 る 政 Ė Ξ 力 7 カ> 宗 0 K を は 大 λy H 取 す 次 故、王 3 以 此 外 記 る \$Z 礟 W 43 及 を る F ifi 0 乞 洪 疑 7 ~(CL 第 K 其 光 世 \mathcal{N} 問 K 明 叉 を જ 0 此 7 5 力 72 矛 븏 2 拖 有 0 0 力 ---K B •---大 7 方 次 7 な 支 る 商 K 宗 倉 は K K ૃ 約 參 史 かご 六 壆 を 西 人の 0 右 商 班 す 7 締 7 凰 H. 汧 K 本 嵗 V) 文 王、新 間 8 史 誌 其 す 次 5 些 第 K る 叫 75 K K 慕 る は 侚 十 ~(力 B 駕 Ŀ 明 定 0 7 躗 5 矛 星 Ξ K 總 寸 他 7 彼 K. 1 0 は Mi 之 ず 丌 上 何 第 步 加 自 1). 圍 遣 己 祭 四 *b* 紃 $\boldsymbol{\mathcal{V}}$

湖

35

二六

沉 す 2 な É ぞ 我 八 加 は 疑 年 は ૃ 共 K 老

主 要 な て. 史料 す(七) も、之 ઍ 可 を 安(佐 K 4 不 ٤ 主 カ> 與 か" 5 な 3 張 间 渡 す \sim K n 凉 す 奉 年 か 對 理 た 問 行 る す 題 由 月 る ぞ は H 0 y \sim 有 な 0 ば K す 點 る 政 盏 關 K 文 宗 す 此 於 る 加 記 7 直 7 ず 題 K 不 デ 接 7 不 u 0 チ 光 # 面 年 飾 5 少 7 は 5 月 72 大 た 6 3 決 たり 行 = 慶 和 叉 す 뺭 日 聂 不。日 叉 た る 南 -75 K. 叉 Ш 0 ろ 長 0 阪 人 年 75 行 公 政 宗 1---1 1----4 엉 卯 は 治 宗 名 北 ટ 月 不完全 自 其 要 八 召 -夘o 記 身 E Œ な かぶ 寄 日 Ø 世 を 子 3 brod broad 47-0 14

六 ~ 元 H S 政 7 K. 主 b 文 B 迄 75 夵 3 を 0 雪 彼 7 少: 7 75 4. 0 5 4) 世 K 四 ら K か Ħ 不 せ 如 殊 75 主 子 元 を 3 は 後 以 K 震 及 和 44. ~ 狀 **C**L)" 范 B 步 及 不 哲 八 其 て 机 0 同 南 Ħ. H 本 大 日 楚 田 Ħ 月 K 天 K 而 K 從 0 U 0 3 0 於 7 Ħ 城 守 K 如 與 B K 8 共 上 る ^ 同 K 野 0 70 月 る 1 7 四 介 0 る + 75 如

二六十

X37

週 旅 H-25 る 3, 0 な 2 1 7 ず だ 0 加 埊 ~ 当 的 や 進 0 7 左 蒙 を 此 吾 0 7 溡 6 及 0 た *b* 邦 K 實 ろ 开 次 料 H る 0 る 家を 研 內 少 子 究 を 贬 次 少 3, Z る 0 可 3 K -gr は 使 办> る 更 は Ł 的 加" V. 亦 抹 K 證 罪 も 云 殺 積 M 左 5 K ^ 0 極 ٤ 經 は 悲 的 な 何 7 是 證 す。 運 Ŀ ぞ **左** K 祭 夫 0 抹

(a) す 大 1 佊 か 次 0 亦 爹 遠 カ> 0 宣 敎 カ> 利 敎 會 盆 亦 師 K を を 送 從 B る 日 정 h 叉 本 2 息 0 とを z 帝 0 0 浓 h X 位. ٤ &t K 疑 75 જ 卽 b Z \sim り八八 多 K-ベ < 倣 乻 0 યુ Vi. 0 X λb な は h 3 儊 Ł 加。 飾 自 0 5 督 意 敎 0

官 不 H H 西 开 大 K を カ> 3. る 47-可 5 3, 年 3 を 以 K て 遺 N 乘船 惯 汉 す 115 B る 機 閣 下 會 0 8 就 失 任 は K 5, 際 3 h 7 初》

7 4 沙 を 得 3, る & 隨 行 0 海 士 0 ---人 K 數 多 0

2 て Z 3. b 是 法 大 る K を ٤ Ξ 因 0 は 叉 0 る て 0 7 K D K 0 2 か 已 K 大 梦 0 K 0 ベ 自 K 办 5 カ> 71 聽 日 72 な 6 す 7 K 少 西 ~ 法 B 当 王 n 矛 世 は 亦 10 牙 西 大 K な n 王 干 之 4---4 1---4 4----4 ば 3 ટ 王 牙 K 不 1 第 世 滿 变 自 在 を Ŧ 世 0 0 .(K 7 を ,世 0 以 退 亦 1 K 0 西 ぐ 1 0) 君 -gh 6 主 侶 名 牙 を 7 Ł 由 図 欲 ٤ E ^ 0 王 世 次 な F 派 司 王

上 K 當 溡

查

を

介

Æ. 7 0 此 71> 世 0 2 0 シ જ とを云 次 n Ţ ば ^ 次 ζ. Z) 史 に第二の を 月 ラ 士 ঠ K (c) 料 要 心 浓 0 百 て 0 後 向 告 5 方 公 K 间 平 月は 更 年 久 K る (a) 大 徒 第三者 加 Ţ 0 ঠ 日 六 る 0 官 3 百 而 途 ٤ 次 K

ssamone-Dono(政宗)... I wrote a letter to 康) and his sonne Mr. Eaton that News is com thar Calsa-Samme (上總 -----(十一) 介忠輝) being backt per his father in law Ma-Wars is lyke to cusue betwixt the Em-

Samme(微觀)his enemie. It is thought it will goe hard with Massamone-Dono, his father in Here we had news how Calsa-Samme (上總介忠輝) hath cut his belly, being attaynted of against his father (家康) and brother (秀忠) to have destroid them and set up Fidaia-

Dono (政宗) and the reportes geveen out that the Kyng of Yaccata to death, Emperor with another tono or doth drtermen to kyng.....(† 11) put Massamone

ド、コ ঠ 上 日 7 25 日 自 0 戶 下 す る Æ, (a) 3 ず 英國 7 ۲ 東 日 ۲ 0 世 を つ 為め 見 る 彼 す て る チ 等 扱る H + દ 日 H 7 記 次

41

二七二

國王 に耐る一四 ば、基督教は大 沙 現 皇帝 0 死を待たずして、帝國を奪 に隆昌に 赴く ~" しと云へ は んと欲 り、翼くば斯く し、兵を擧げん、國王若し勝利 の如くな からんてと

ぎに 千 六百十 స్త 七 年 班 Ŧi. 月、バ 开 ヺ ラ 王 K N 奏聞 ス、ソ 步 る Ħ 項 及 中に CL" 同 行 0 H 本 人 K

Ø 0 Œ. 方 K は、日 め、大な 0 上 事 0 に通 Ġ 宜 帝 望 6 た K あ 服 る 從 정 1 し(十五) 0 たる 證言する 踏王中、最 K 對して、好 ٤ てろ 意 を有 大 VC. gr **H** ば、彼等 정 ば、皇帝たるに及ん K を 遣 て は 皇 帝 10 で、布 る 0 驱 鄓

叉
た 千六 百十 八 年 月 日 ナ ラ イ、ル 1 ス、ソ デ u 加 × 丰 シ 7 £ 6 V Jν 7 公 K 與 ^

H 0) 官 0 長 る は し、皇帝 に、政宗 上 流 より 0 は 海 迫害 4 士 0 な 圣 臣 る 受け 下 當 0 悉 つ 地 Ž K 基督 あ 於 る三十 て 敎 洗 徒 艫 を 萬 ٤ 了 受 Ø 日 V 本 h 熱 0 2 叭 とを 农 徒を 3 望 敎 部下 徒と み、又自 Ţ 5 J n

勢 κ J. b て 皇 帝 չ Ţ り、自ら永 く、帝 位に あら んこ とを 希望する 由 なり、十

六

意義 ろ 共 0 如 1 有 自 する 身 政 宗に にあら を異 あ 灾 たれ K し、時を て、彼 だ大 り、吾人はこ 異 Ţ の女婿上 る所 K 以 0 は 遺使 總 r た 人 介 信 加 を ず 單 る 耀 と共に、第三 次 K を意味する る 43-經 る是等 濟 說 0 **(2)** 理 史 0 實 由 次 層高き王冠は窓 Ļ 加 b放 て る 治上の 疑問 0

-ソテロ……西班牙羅馬法王

伊達政宗

一和八宗友……大阪方

上總介忠輝

大外保長安(佐渡金山奉行)

(1)麦倉六右 了 五 日 庆 泉 令 史、松 木 午此 衛門 思 作、西 Ħ 一行が 南 證國 儿 月 田 浦を 右 쌴 l 载 内 Æ 貞 ス、支倉 九右 詑 餘 51 六右衛 門、内嚴强、主 門常 殿、古内、久

總介忠鄉

1

八 次、金 云 -== 逗留 太 餘 臓 人氏以 其 不上 乜 外知六郎 3/ 人類 商 楚 天 Ħ F 呂 λ 云 æ 祭 歸 共 國 = ス、公 同 船 方 = Ħ 乘 船 ÷ t|t 回 テ 此 人 彼 腽

72 K

去 下 常 t**ļ**ī 元 倉 造)V 久 常 六 W 長 L 1. jt 承 右 JL + 彼 之 娱 于 Ľ 徿 間 八 Ξ 門 高 Ŧi. 元 === -} 仕 阿 111 建 尺 3 大 久 住 275 工 Ħ. ラ Ξ 漪 ル、其 于 寸 與 Ħ 常 松 叉初 伊 泂 -7 叙 右稱 遠 Æ 州 媒 材 胍 鋭 水、杉 從 馬四 世 田 及 當 波 六 介那 觀 縫 Ľ. 衛次 家 愆 水 郡 躞 郎 第 下、任 ф 久 譜 蠫 六 手 21 村、常 Ξ 爲 ら支 頭 鎎 間 顯 世 壹 齟 Ξ 水 其 久 陂 倉 之 尺 人 朋 守 子 裔 伊初 率 助 Щ 公 丹 城 浴 爲 藤稲 行 돰 Ľ 後 水 脘 之 姓 木 シ === 間 守 平 助 成又初 华. 番 共 阚 顷 住 主稱 士、全 叉 八 党 日 人 ***** 泼 馬七 月 Ш ヲ 鞩 成 倉 介郎 寫 保 自 俞 游 久 百 從 柱 ス 監 *>*> 爲 成 Œ Ħ. 右 州 毆 片 T 氏 常初 目 4. 恶 成名 代 久 文 文 石 下 木 横 通 y 之 常 差 Æ

守

衛七

久

又初

傯

盲

于

四

世

西

爲

正 新初 守 門 之 常 有 右稱 又初 BIL 稱 長 Ħ. 術 石 三常 奉 三 兵新 左稱 與 亦 衛六 馬新 之 田 常 子 命 市 答 尉郎 介六 新 腙 固 常 長 1 1 Щ 1 死 女 子 胁 日 叉 郞 兵 分 公 下 於 爲 高 维 從 嶽 之 其 伊 II. 三初 四 ĪĒ 愈 以 稱 **哼** 那稱 守 + U 貞 渊 亦 Æ 銷 之 小又初 常 歷 六 Щ 常 B Ξ 仕 子 常 右稱 鼝 百 公 清 京棚 現 伊置 子 早 直 石 于 進三 丹 常 Ш 城 死 九 及初新解 守 後 次 保 乙 躗 山 叉初 子 11/2: 锌 王 Ţ. 伙 日 見 二 新術 因 長 又初 紀 紦 狻 伊 公 兵大 幡 仕 主稱 伊 韶 有 保 衛郎 守 當 馬獺 守 又 有 常 又初 家 Z 二 五初 千 桃 以 第 子 = 腐 左稱 元 六 即稱 正百 歷 馬彦 北 常 和 百 長 而 世 守 === 石 仕 介三 日 六 石 吊 四 子 居 仕 常 直 胍 儀 題 功 II: 7 由 叒 朝 Ш 當 次 常初 城 山 n. 與 71 觀 日 公 國名 支 保 漪 郎 為 平 Ħ 狻 紀 胨 倉 Щ H 簱 ----**h** Œ = 漪 4 Х 裔 伊 华 以 世 亥 n ち Ξ 次 是 子 爲 早 男 孝 淺 彩 也 本 六 昔 Z 17 死、次 四 公 公 溆 番 右 次 侄 儿 常 爲 曾 嶌 Ħ 胁 嗣 爲 緻 衛 日 守弟 二 ひ、鳥 屬 土 四 老 陇 日 長 子 稱 新 常山 兆 Ø 清 死 紦 之 以 甞 今 慶 右 Ø I 于 右 長 嫡 紦 伊 鍁 火 長 子飛 存 源 戸 孫 守 伊 倉 21 門 **E** 常 行

二七六

ž, 金 浦 Ł 44 l ķ ŋ Ł 倘 F 此 浦にて 政宗が 船を造ら L めし 理由

Ł 龖 Ŋ n 着 邓 岸 12 <u>%</u> Ø ず、新 發 鶋 とって 造 ž 造 西 3 洋 法 **₹** 別 71 所 傚 ક n u 8 L 43 選 21 給 え **3**3 ፌ ず、恐 事 300 を、ソ 3 4 < ゔ u 此 п 71 0 邊 相 謀 ^ 愆 5 れ、向 船 漂 井殿 着 Ĺ

とあり

3 政宗 0 文 ٤ 費(大 L B て E 定 本 史料 0 材 餠 <u>-</u> 百 44 Ħ. L + ٨ 艱)に 17 B Ŧ 3 六 43 百 る <u>---</u> ۲ + ٤ ---华 酉 班 -13 月 汧 <u>~</u> 7 H K 7 ッ == ラ K 史 T 鄧 認 科 B 鄾 L 士

本 꽶 华 先 rů, 华 n 酉 0 きした 4 道 l 班 华 彩 矛 51 使 Ø 51 對 節 使 す る 0 迫 を る 泌 紁 及 Ĺ 7 Z, る Q, \wedge て(そ 忆 IJ, l ž ķ n て 宗 見 \$ 其 て、公 で 領 ح i. 闪 2 然 政 基 E 宗 II 督 쬻 派 噩 敎 熱 Ø 望 音 Ú て、宗 44 盛 τ 螛 を 51 ζ 布 3 72 ず 害 る り、政 度 ţ II Ş Ŋ 自 新 眀 H

Ħ 村 0 局 設 る 南 田 邈 켦 希 u 文 覍 繒 公 쓇 治 記 成 51 B る u 盪 て、自 蒶

説多 欻 會 政 ¥ 宗 B 0 耶 少 蘇 Ø 数 假 俘 托 奉 B Ø 3 癖 故 疑 17 Ŀ 絕 抹 對 殺 0 44 瞪 ん 左 K Ł 爲 岛 T 5 71 ず、加 故 3 ૢ૾૾ૢ 17 3 僞 17 作 此 પ્ક る は 狻 世

(国) Guglielmo Berchet, Le antiche ambasciate Giapponesi is Italia Dec XLIII.

羅馬 撒 七 寸 72 市 二分 ず Ħ は淡 り、之 黃 館 文 B 紙 财 爲 IL Ø) 子、二 文 小 八 分 料 羽、第 镇 百 Ξ = 粃 虩 縱 17 同 7 岛 じ 企 餟 ζ 横 衜

料(頁 翰 ス 宗 文 ⇉ の留宗 部 五)に ŋ 班 饠 4} Ξ 九)に、 l 17 叉 セ 0 VI 欧 廳 Ø 史 料(頁 II 7 材 與 南 ٤ 料 彼 鐙 1 七 Œ. Ø 17 大 文 七 Ħ 七)に 條 約 用 B A 灾 31 1I 44 霹 用 四 I 次 班 44 大 u 4. 驴 Ħ Ξ Ø ン、フ 史 八 大 **>** 北 料(頁 四)に、本 71 П ラ 本 ス 交 v 史

C'ha fatti alla Christianità, e desiderio che tiene d'esser Christiano, e dell' aumento Historia del regno di Voxu del Giapone, dell' antichita, nobilta, e valore del SVO di nostra. re Idate Masamvne, santa Fede in quelle delli favori,

上總介忠

parti. E dell' ambasciata Amati Romano, Interprete, e Hiotorico dell' di edeficatione, e gusto spirituale de i Lettori. Dedicata alla Stà. di N. S. di N. S. papa Paolo V, e, delli suoi successi, con altire Rom 1615. Dapa Paolo V. Fatta per il Dottor Scipione

- (八) Guglielmo Berchet, P. III. Doc. XLIII. 及大日本史料頁二九七1二九八
- (九) Guglielmo Berchet, P. 113 Doc. XLV及大日本史料頁三三二二三三三
- (十) Guglimo Berchet, P 114. Doc. XLVI及大日本史料頁三六三二二六四、
- (41) Richard Cocks, diary, vol I. P 116
- (†ij) Richa d Cocks, diany, vol I P 163.
- (쉐) Richard Cocks, diary. vol. P 192.
- 温 馬市 ሃየ 4 71 v 文書館の 交喜 ф 7 ħ り、大日 本史料 頁 Ξ. 八 八 1 Ξ 八 北 歐 交材 料 當
- \equiv 號 17 館 麥 Ø Ŋ 文書 2 3 り、大 H 本 史 料 7 τ u Ą 四 莊 四
- (未完) 下文書館 7 あり、大 Ħ 水 史 料 7 ч 以 頁 四 Ξ Æ 同 史 料

議

滇

-

産業組合の

鼻肌

ライフアイゼンの傳

法學博士 矢作祭 壺慶應義塾理財學會に於て

まして、 ものであります、千八百十八年の三月卅日夜の十 物のやうに見えますが、彼の生活は小さな健全な を退職しなければならぬやうに健康を害し、 はず親は非常な酒香でありまして、 其ライフアイゼンの如き立派な人物の父にも似合 ムと云ふ村に生れました、彼は村長の息子であり 家政向も不如意でありました、 一時にライン河の支流のチーグと云ふ河の邊の イフアイ 其三つの年に親が死んだのであります、 ゼンと申します人は本の上では大人 小學校には行つた デあるから隨つて ー〜から村長 35

他兵工科學校なるもの卽ち東京の砲兵工廠の裏に 故 十七の時砲兵の普通の兵卒として 入 營 致 しまし 學を學び、音樂を學なんで非常に頭腦の疎雜な荒 の ユ 前の兵隊では無い、 其學校に行つて卒業したのであります、 は冬丈けある學校で冬七箇月あります、 あります様な、 に這入つた御蔭で青年曾の世話を此人はした者 多少窺ふ事が出來たのであります、同時に青年 つぽい兵士が、 の有る軍曹でありますからナカー 軍曹としてサイエンに赴任致しました、其のサ 村で補習教育を受けました、千八百三十五年に年 エンと云ふ所に居るときにライフアイゼンは當り 夫れ以上には行けない、 年に其學校を卒業致しまして千八百四十一年に 夫れから千八百三十八年に優等の成績を以て ーデル 忽ちサイエンの青年會に這入つた、 ヒヤ 大いに優し アノ學校に入校した、さうして是 (喜びの人)に這入つて獨逸の 當り前の軍曹ではない そこでサイ い又高尚な獨逸文學を ~茫然して居ら 其青年會 二箇年間 千八百四 將來 1